

**第44回全国海外子女教育国際理解教育研究大会(長野大会)**  
 兼 第14回北信越ブロック国際理解教育研究大会  
 平成29年8月3日(木)～8月5日(土)  
**大会主題**  
**世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして**

**会報**  
 長野県国際教育研究協議会

第63号

発行人 中川 弘道  
 編集人 松井  
 事務局 長野市若槻東条810  
 長野市立若槻小学校内  
 池田  
 TEL 026-295-6969  
 FAX 026-295-6948

**成功を期す**  
 ひらき・つなぎ・つむぐ

会長 中川 弘道



平成二十九年度が始まった。総会の席上で、役員改選は全海研主催の全国大会を本県で引き受けることに

なつたために、引き続き同じ体制でスタートすることが了承された。

果たしてこの重大な全国大会を受けて動くことができるか心配であったが、第四十四回という歴史ある大会を成功させようという意気込みが役員全員に何え、体制作りから動き始めた。

開催にあたっては、北信越ブロックの各県の協力を得ながら、そして全海研の意向に沿ってご指導を戴いて、今夏八月三・四・五日の三日間をかけて長野市で

行われる。いずれ全国にその取り組み内容が流されるが、会員を含め現場の先生方の主体的な取り組みを期待したいところである。

ここで全海研の掲げている大会主題を思い起こしてほしい。

「世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして」とある。【ひらき】【つなぎ】【つむぐ】の語句から伺える意味について考えてみたいのである。そしてネットワークで【紡いで行くこと】が、明日の教育に力となつてつながらと考えたサブタイトルが何を目的としているかである。

学習指導要領の改訂をふまえ、大きく教育改革が論じられるようになった昨今、最新の教育用語も次から次へと入ってきて、現場ではそれに関わる研究や授業改革が、各自の学校の特色を生かして行われるようになった。時代の流れも急速に変化し、今やグローバルな人材育成を要求される現在、これから生きる子どもへの教育についての在り方を国際理解教育という観点から改めて考える時にきていると思う。

長野大会を成功させることは、私どもの、かつて体験した海外派遣教師集団の意識と認識にかかっていると考える。

**派遣教員帰国報告・壮行激励会と**

歓送迎会

- ・期日 平成二十九年三月二十五日(土)
- ・会場 長野市「ホテル信濃路」

盛大に行われました。

**お帰りなさい！お疲れ様でした**

**帰国教員**

- 星野 シンガポール日本人学校
- 両角 台北日本人学校
- 飯尾 蘇州日本人学校
- 辰口 アブダビ日本人学校
- 鈴木 ヤンゴン日本人学校

**いっしょに 気を付けて**

**派遣教員**

- 宮下 香港日本人学校(青木小)
- 小林 ソウル日本人学校(富士見小)
- 相馬 バンコク日本人学校(宗賀小)
- 小林 香港日本人学校大埔校(松川中央小)
- 北村 台北日本人学校(下諏訪南小)
- 川尻 バンコク日本人学校(小谷小)

**シニア**

- 小松 ドーハ日本人学校



蘇州日本人学校  
勤務を終えて

松本市立島立小学校 飯尾

蘇州日本人学校は、上海近郊の蘇州市にある小併設の児童生徒数約三百五十名の学校です。

「グローバル人材の育成」のために、全教室に配備された電子黒板等が活用され、語学力とコミュニケーション能力の向上育成のために中国語と英語にも力を入れて取り組んでいます。その成果が、現地理解教育等で活かされ、中国語で現地の方と会話や交流ができたときの喜びは、児童に自信と成長をもたらしました。

蘇州の地で中国の文化や人、日本各地出身の同僚・児童生徒・保護者の方々の出会いは、多くの感動と価値観に触れる貴重な経験となりました。三年間の間に慣れ親しんだ蘇州日本人学校のやり方と国内の学校でのやり方に戸惑うこともありましたが、空を見上げて中国蘇州の地を思いながら、島立小学校でのよき出会いに感謝する日々を送っています。



写真：2年1組 学習発表会  
スイミーの思い出とともに

台北日本人学校  
勤務を終えて

長野市立通明小学校 西角

私は台北日本人学校在籍中に三年生を担任させていただきました。社会科の学習で学校のまわりを調べに行きました。その中の一つに市場がありました。台湾の市場では、新鮮な野菜や果物、豚や鶏の生肉がそのまま台に乗せられ、買いの客のニーズに合わせて量り売りをしています。顔なじみ客にはおまけをしてくれま

す。帰国後、スーパーに行くと、豚肉や鶏肉がトレイに入れてきれいに陳列されている様子も改めて新鮮に感じています。台湾と日本のそれぞれのよさに気づくことのできた三年間でした。

最近では県内でも台湾との交流のニュースを目にします。また、行ってみたい国としてともに上位に入る日本と台湾の関係をとてもうれしく思うとともに、いつまでもこの関係が続くことを願っています。

たくさん経験させていただいた感謝を胸に、目の前の子どもたちのために引き続き頑張りたいと思います。



写真：市場の見学  
お店の方にインタビュー

ヤンゴン日本人学校  
勤務を終えて

箕輪町立箕輪北小学校 鈴木

ミャンマー最大の都市ヤンゴン。児童生徒数は園児も含め三年間で百人が二百人に倍増。毎日がお祭りのような活気あふれる環境の中、中学部を担任した私は「宿泊体験学習」で生徒と共に飛行機に乗り、国内の様々な場所を訪れた。三大仏教遺跡バガン。旧王国の首都マンダレー。戦争で亡くなった日本人の墓地も参拝した。体験学習でお世話になったのは、灌漑農業に従事するJICAの方やジャパンハートの医師、看護士の方々。設備の整わない病院で現地の患者とふれ合い、目の前で手術を見学した体験は特に印象深かった。私欲や利益を省みず、現地の方のために尽くし、ミャンマーの発展に寄与するその日本人の姿が、感受性豊かで行動力のある日本人学校の生徒達の今後の人生にどう影響してくるか、今からとても楽しみである。

英語はコミュニケーションの道具です。そして日常コミュニケーションの八十以上は会話です。それが現実です。

帰国して思うこと、それはEmirat(現地の子で日本人学校に通っている児童・生徒)と学校生活を共にできたことは本当に貴重な体験であり、私の考え方に大きな影響を与えたということです。

「日本人学校で学ぶEmiratは日本語ができます。」と私が言えば、「できて当然でしょう。」とお考えになると思いますが、彼らは国語の授業を日本人と同じように九年間学びます。だから日本語はできません。ただし話すことが流暢にできて、書くレベルは中学生でも小学四年生レベルが限界でした。

Emiratは書くことは苦手かもしれませんが、私と十分にコミュニケーションがとれ、私の英語に対する考え方を大きく変えてくれました。日本の受験英語に「Speaking」が導入され「Listening」の割合が大幅に増えれば……



写真：離任式での記念撮影

私と同じように心が揺さぶられる経験をできる日本人が増えるのではないかと思います。

アブダビ日本人学校  
勤務を終えて

箕輪町立箕輪中学校 辰口

シンガポール日本人  
学校勤務を終えて

飯島町立七久保小学校 星野

毎年、二百名近くの子が編入し、それと同数の子が学校を去って新たな地へ旅立っていく・・・それが、シンガポール日本人学校小学部クレメンティ校の特徵です。

出会いと別れが多いからこそ、クレメンティ校の子どもたちは、友達に優しく接し、誰とでも分け隔てなく関わり合い、穏やかに笑顔で過ごすことができます。そして、一緒に生活できる今を大事にし、目の前の活動に全力で取り組むことができます。そんな、クレメンティ校の子どもたちと共に過ごすことができた三年間は、私にとって忘れがたい時間となりました。

今日もまた、クレメンティ校では、新たな出会いと旅立ちがあることでしょう。そんな中で、優しく逞しく成長している子どもたちのことを、いつまでも応援しています。



写真：マーケットへ校外学習  
習った英語を使って質問も

第44回全国海外子女教育国際理解教育研究大会（長野大会）

兼 第14回北信越ブロック国際理解教育研究大会

日程

平成29年8月3日（木） 12:00～16:30 トーキングテーブル

8月4日（金） 9:00～16:30 特定課題分科会

初めての派遣への道  
再派遣・シニア派遣への道  
素材・教材化へのネットワーク  
未来にわたる在外教育施設

【グローバル化を推進するネットワーク化】  
【派遣経験を活かした教育活動】  
【コミュニケーション能力の育成】  
【親日家育成プログラムの方向性】  
【在外教育施設のありかた】

8月5日（土） 9:00～12:00 実践事例発表会  
13:00～16:00

講演会「グローバル化へ国際感覚を伸長させるための英語実践教育」

講師 信州大学名誉教授 渡邊時夫先生 & ALT

8月6日（日） 地域巡検（松代方面）

会場

長野市生涯学習センター（トイゴ） JR長野駅から徒歩約10分

☆是非、ご自分の学校の国際理解教育ご担当者、周囲の先生方をお誘いして、

一人でも多くの方と一緒に参加しましょう。

編集後記

中川会長をはじめ多くの方々に、ご多忙中、ご執筆いただき深く感謝申し上げます。私の周りでも、来年度から週70時間となる小学校の外国語の授業はどうあったらよいのかと話題になっています。今年の夏は全海研の長野大会が行われるという記念すべき年となりました。周囲に紹介していくことで、仲間を増やし、つながることのできるよい機会であると感じています。

(中野市立倭小学校 松井)

会計部より 会計部長 原田（喬木村立喬木中学校）

会費納入をお願いします

年会費2,500円となっています。振り込みまたは、大会の際にお支払いください。昨年度は各支部長さんを中心に皆さんのお力添えをいただき、未納金を減らすことができました。本年度もご協力をお願いします。

振込先 長野県国際教育研究協議会

ゆうちょ銀行 口座記号・番号 00550-7-28248

**平成28年度 長野県国際教育研究協議会会計決算報告**

収入総額	965,474円	平成29年3月25日	提出
支出総額	386,725円	平成29年3月25日	承認
差額残高	578,749円		

1 収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	備 考		
繰越金	292,866	292,866	前年度より		
会 費	1,162,000	609,000	郵貯振込会費	312,500	※未納会費 412,500
			直接支払会費	296,500	※未納記念誌代 15,000
雑収入	10,000	63,608	セミナー資料代	30,000	弘済会助成金 30,000
			セミナー書籍代	3,600	北信越ブロック開催補助金 40,000
			利子	29	
合 計	1,099,765	839,294			

2 支出の部

項目	予算額	決算額	備 考		
会議費(旅費含む)	250,000	194,520	総会・激励会・セミナー補助	53,520	役員会補助・大会旅費補助 141,000
会報・紀要発行費	100,000	100,000			
研修費	100,000	47,273	夏期セミナー講師謝礼等	37,273	北信越大会負担金 10,000
事務局費	20,000	4,354	通信費	4,354	
情報処理費	40,000	18,960	ホームページ運営費	18,960	
積立金	500,000	0			
予備費	454,866	21,618	滝先生ご母堂様献花代	16,200	滝先生ご母堂お花代 3,618
			信教お礼	1,800	
合 計	1,464,866	386,725			

監査の結果、領収書、通帳等適正に処理されておりました。平成29年3月25日 会計監査 山下 島山

**平成29年度 長野県国際教育研究協議会会計予算**

収入総額	1,560,749円
支出総額	1,560,749円

1 収入の部

項目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
繰越金	578,749	292,866	285,883	
会 費	952,000	609,000	343,000	内訳
				会費 2,500円×205名=512,500円 入会金 2,000円×6名=12,000円 ※28年度未納金 427,500円
雑収入	30,000	30,000	0	補助金等
合 計	1,560,749	931,866	628,883	

2 支出の部

項目	本年度予算額	前年度決算額	増減	備 考
会議費	250,000	194,500	55,500	総会・激励会・大会補助50,000円 役員会補助・大会旅費補助200,000円
会報・紀要発行費	200,000	100,000	100,000	24集分
研修費	100,000	47,273	52,727	講師謝礼等 100,000円
事務局費	20,000	4,354	15,646	郵送料等
情報処理費	40,000	18,960	21,040	ホームページ管理費 30,000円 プリンターインク代等 10,000円
積立金	500,000	0	500,000	40周年記念事業に備えて
予備費	450,794	16,200	434,594	*予備費を増やすことで、未納金に対応。
合 計	1,560,749	381,287	1,179,462	